

コイズミ学習デスク 取扱説明書（保証書付き）

STEP UP DESK

- WDS-611NS ●WDS-515NS
- WDS-612WS ●WDS-516WS
- WDF-613NS ●WDS-517SK
- WDF-614WS ●WDF-518NS
- WDS-615NS ●WDF-519WS
- WDS-616WS ●WDF-520SK
- WDF-617NS
- WDF-618WS

目 次

1 各部の名称	2
2 付属品	2
3 商品の使用スタイル	3
4 組立方法	4～7
5 使用方法	8～11
6 照明器具の使用方法	12～14
7 使用上のご注意	15
8 点検と修理が必要なとき	15
9 コイズミ学習家具保証書	16
10 お客様ご相談窓口	16



このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

天然木について

- 展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
- 力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

- | | |
|---|---|
| <p>警告
WARNING</p> <p>注意
CAUTION</p> | <p>説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.</p> <p>説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。
A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.</p> |
|---|---|



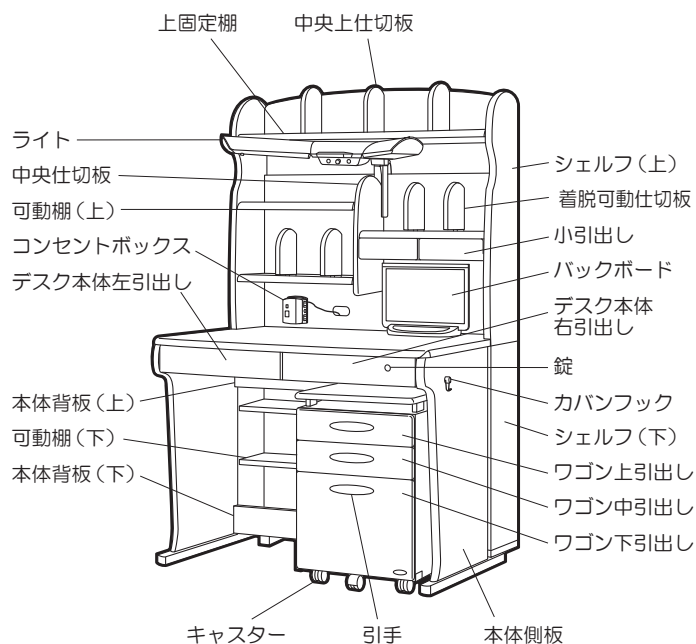
このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



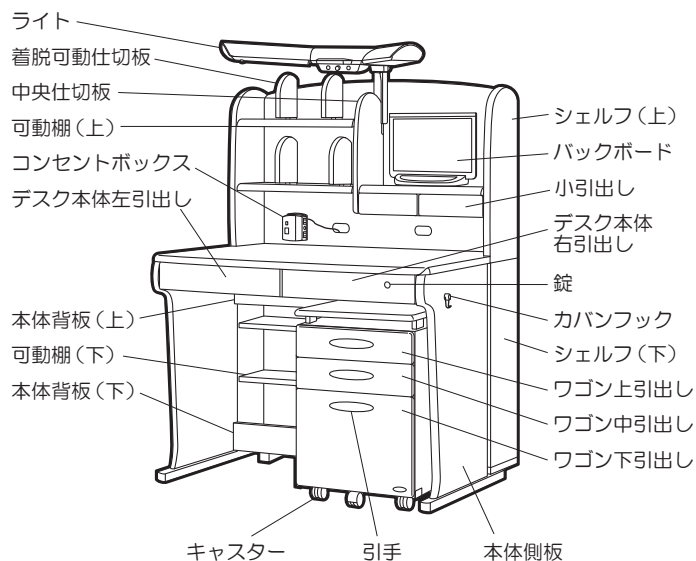
このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

1 各部の名称 (イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

■棚付デスク (ハイシェルフタイプ)



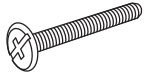
■棚付デスク (ミドルシェルフタイプ)



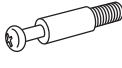
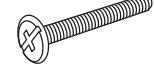
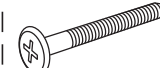
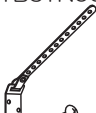
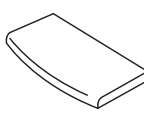
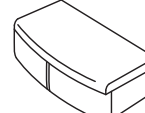
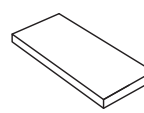
※品番はデスク本体右引出し内の品質表示ラベルにてご確認ください。

2 付属品 (付属品がすべてそろっているかご確認ください。)

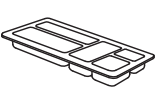
■デスク本体付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

ボルト (M6×38mm)	ボルト用キャップ	ナット用キャップ	カギ	カバンフック	トラスボルト (M6×25mm)
GKU6BU638	GKU6BC60V (GKU4BC60R)	GKU6DC06V (GKU4DC06R)	GKU5KD502	GKU4KF05R	GKU4BW625
					
×13	×12	×6	1 セット	×2	×2

■シェルフ付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

連結ピン	回転金具 (銀色)	回転金具 (黒色)	回転金具用キャップ	ボルト (M6×38mm)	ボルト (M6×45mm)	ボルト用キャップ	穴埋めキャップ
GKU4MB605	GKU5MKN18	GKU4MK123	GKU4MC31N (GKU4MC29R)	GKU6BU638	GKU4BU645	GKU6BC60V (GKU4BC60R)	GKU6AC17V (GKU4AC017)
							
ハイ:×12 ミドル:×10	ハイ:×8 ミドル:×6	×4	×4	ハイ:×12 ミドル:×6	×2	ハイ:×6 ミドル:×2	×4
転倒防止金具	樹脂棚ダボ	可動棚(上)	可動棚(引出し付)	可動棚(下)	着脱可動仕切板	コンセントボックス	ボルト (M6×30mm)
FTB6TN002	YMK6TD07A					YUK6SW01L	GKU4BU630
							
1 セット	×12	×2	×1	×3	ハイ:×6 ミドル:×4	×1	×2

■ワゴン付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

キャスター (5個入)	ペントレー	仕切板 (下引出し用)
GKU4WC945	SMY4PE500	
		
1 セット	×1	×2

3 商品の使用スタイル

この商品は、お子様のライフスタイルに合わせて3つの使用スタイルが可能です。

●STEP1（スタンダードタイプ）

書棚と机を連結させ、棚付きデスクとして使用
ができます。

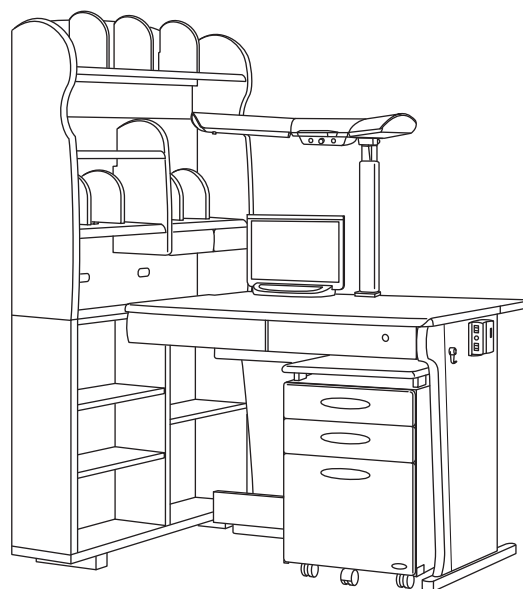
最も省スペースでの使用に優れたスタイルです。



●STEP2（ユニットデスクタイプ）

書棚に机の片側を連結させ、ユニットデスクと
して使用できます。

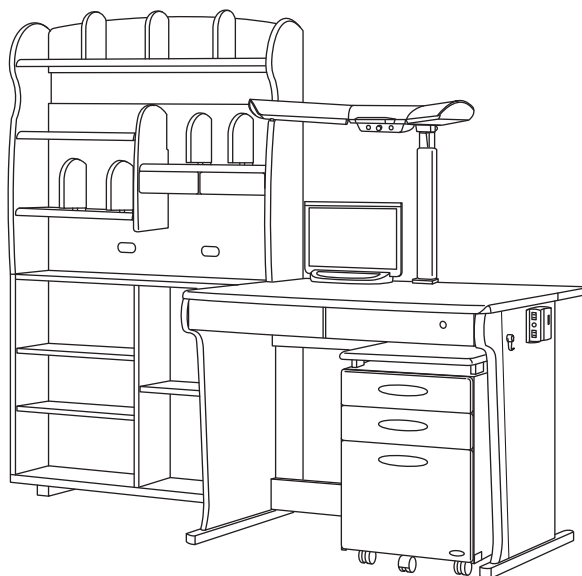
主に部屋の隅での使用に適しており、窓をさえ
ぎることなく勉強をすることができます。



●STEP3（セパレートタイプ）

書棚と机がそれぞれ単品家具として使用でき、
書棚、机とともに広々と使用できます。

また、お部屋の間取りに合わせてレイアウトす
ることにより、部屋をすっきりと使用すること
ができます。

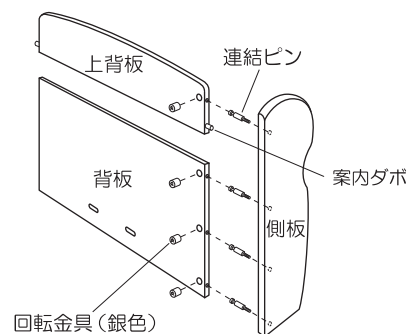


4 組立方法 (組立ては2人でおこなってください。)

■シェルフの組立て方法 ※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

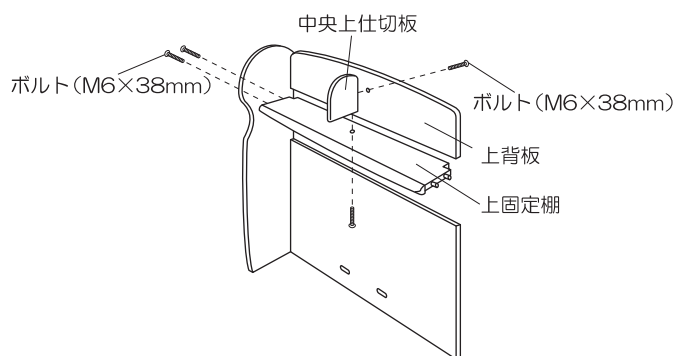
(1) 背板と側板の組立て1

- ①側板に連結ピンを4本ねじ込んでください。
(図はハイシェルフです。ミドルシェルフの場合は3本締めつけてください。)
- ②背板の穴に回転金具(銀色)を4個はめ込み、背板と側板を連結させてください。
(ミドルシェルフの場合は3個はめ込んでください。)
- ③回転金具(銀色)4個を⊕ドライバーで右へ回し、締めつけてください。
(ミドルシェルフの場合は3個締めつけてください。)



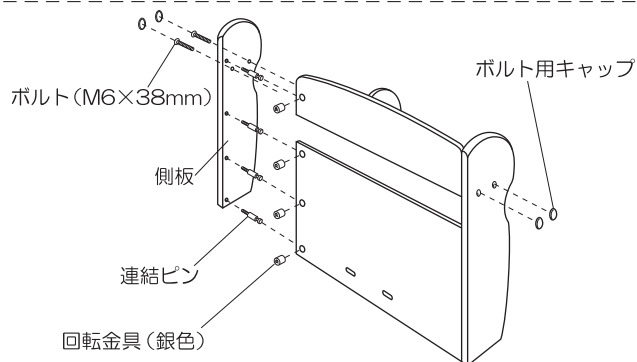
(2) 上固定棚取付け※ハイシェルフの場合>

- ①上固定棚に中央上仕切板を下からボルト(M6×38mm・1本)で締めつけてください。
- ②側板に上固定棚をボルト(M6×38mm・2本)で締めつけてください。
- ③中央上仕切板と上背板をボルト(M6×38mm・1本)で締めつけてください。



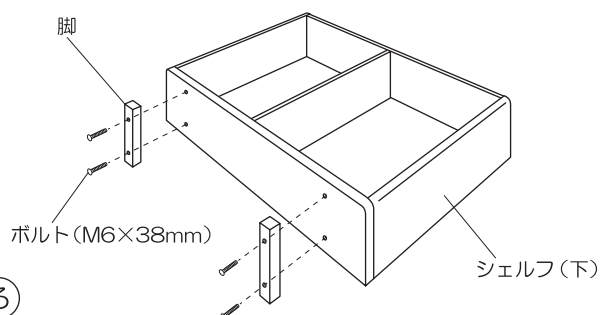
(3) 背板と側板の組立て2

- ①(1)と同様の手順でのこの側の側板を取付けてください。
- ②ハイシェルフの場合、上固定棚と側板をボルト(M6×38mm・2本)で締めつけてください。
- ③組み上がりましたら、すべての回転金具とボルトをしっかりと締めつけてください。
- ④ハイシェルフの場合、側板と上固定棚を取付けたボルトの頭にボルト用キャップを4個取り付けてください。



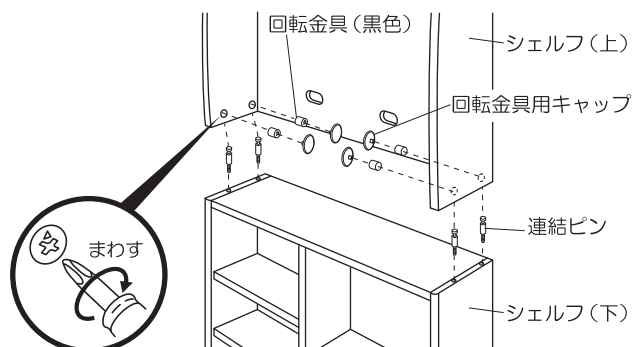
(4) 脚の取付け

- 毛布等しき物の上にシェルフ(下)を寝かせて置き、シェルフ(下)の底に左右それぞれ、脚をボルト(M6×38mm・各2本)で締めつけてください。
その際、脚がシェルフの前縁より飛び出すように取付けてください。



(5) シェルフ(上)とシェルフ(下)の連結

- ①シェルフ(下)側板の上面に連結ピン(左右各2本)をねじ込んでください。
- ②シェルフ(上)の左右側板内側に回転金具(黒色・各2個)をはめ込み、シェルフ(下)の上に乗せてください。
- ③回転金具(黒色)4個を⊕ドライバーで右へ回し、締めつけてください。
- ④回転金具(黒色)に回転金具用キャップ4個をはめ込んでください。

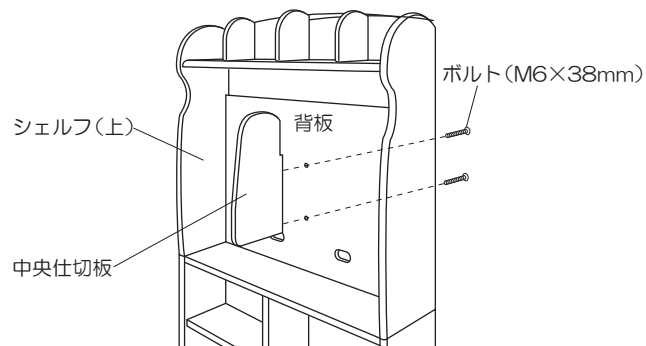


4 組立方法 (組立ては2人でおこなってください。)

(6) 中央仕切板の取付け

- ①中央仕切板をシェルフ(上)の背板に後からボルト(M6×38mm・2本)で締めつけてください。

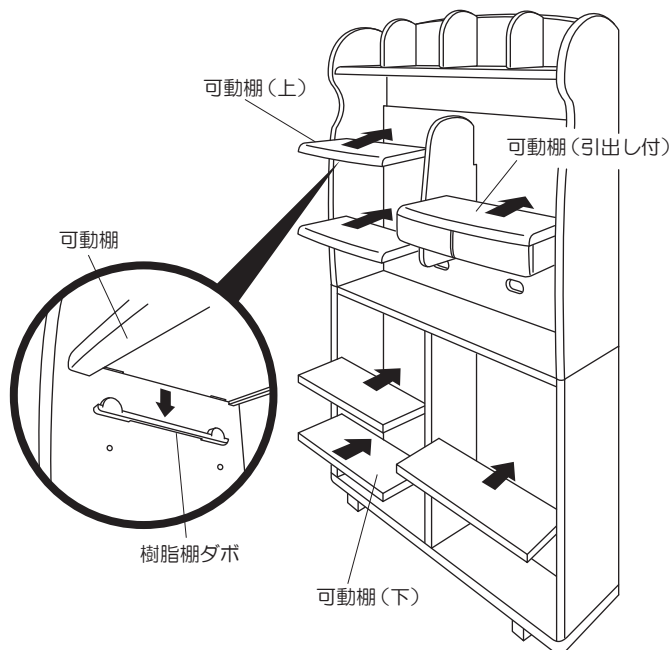
※図はハイシェルフですが、ミドルシェルフでも取り付け方法は同じです。



(7) 可動棚の取付け

- ①側板と仕切板の穴に樹脂棚ダボを確実に取付けて、可動棚を水平を保つように、可動棚の下溝に確実にはめ込んでください。
→中途半端な取付けでは、可動棚がはずれてものが落ちたり、小引出しを引き出したとき倒れたりして、けが・破損の原因になります。

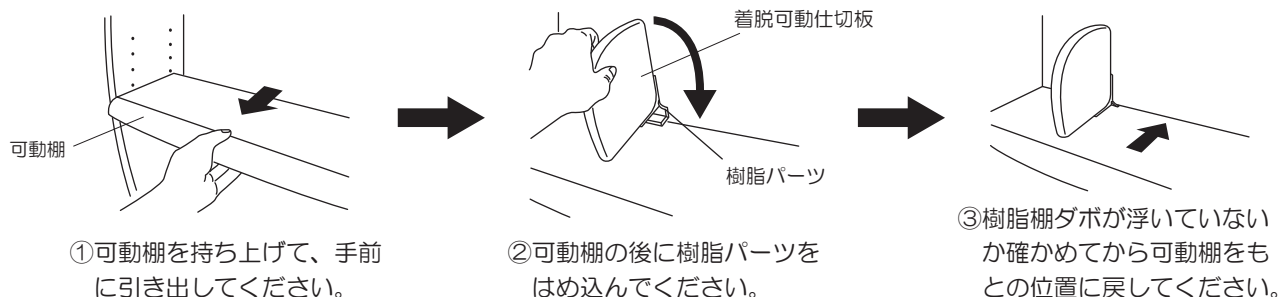
※引出し付きの可動棚の取付けも同様です。樹脂棚ダボを確認しにくいですが、確実にはめ込んでください。
※可動棚にはシェルフ(上)用とシェルフ(下)用とがあります。ご注意ください。
※可動棚はシェルフ(上)が左右それぞれ11段階、シェルフ(下)が、左右それぞれ14段階の高さ変更が可能です。
※左右の組替えも自由に行えます。使い易い位置で使用してください。



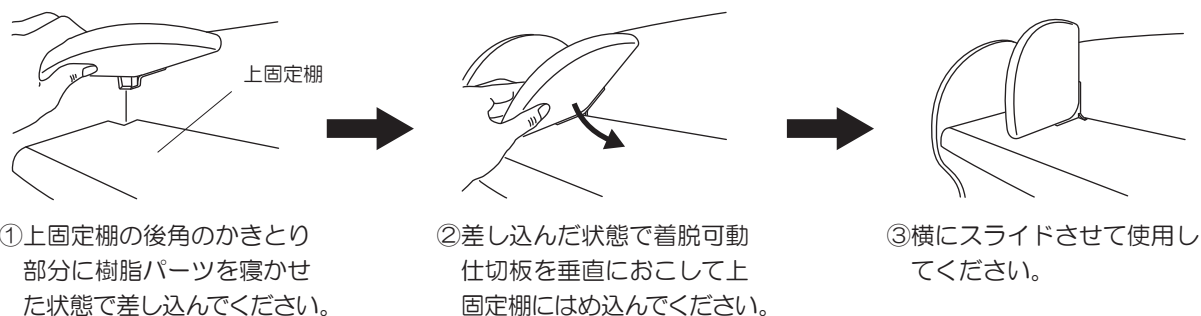
(8) 着脱可動仕切板の取付け

①可動棚への取付け方法

※着脱可動仕切板を取付ける際は、上に物が乗っていないことを確認してください。



②上固定棚への取付け方法 (※ハイシェルフのみ)

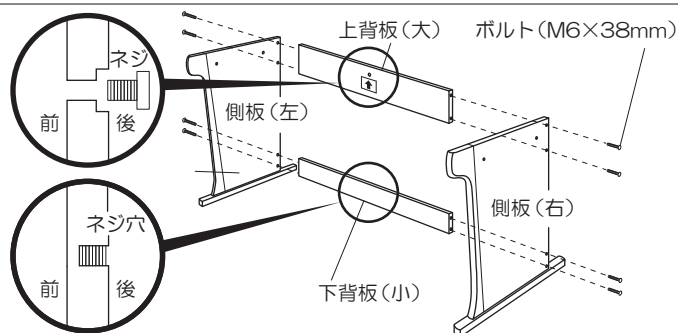


4 組立方法 (組立ては2人でおこなってください。)

■デスク本体の組立て方法 (STEP1、STEP3の場合)

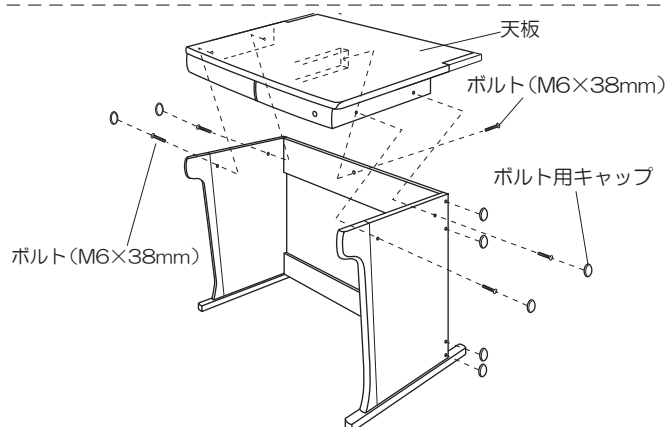
(1) 背板と側板の取付け

- 左右の側板を図のように、ボルト (M6×38mm・各4本) で締めつけてください。
- ※このとき背板の前後上下に注意してください。
- 上背板 (大) は上マーク $\blacksquare$ を前側に、
下背板 (小) は4つのネジ穴がある面を後側にして締めつけてください。



(2) 天板の取付け

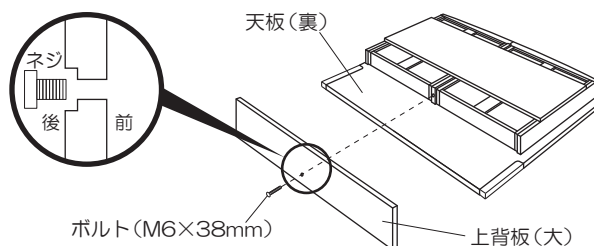
- ①天板と側板を左右からボルト (M6×38mm・各2本) で締めつけてください。
- ②上背板の中央の連結穴に、後からボルト (M6×38mm・1本) で締めつけてください。
- ③組み上がりましたら、すべてのジョイントボルトをしっかりと締めつけてください。
- ④左右の側板取付けボルトの頭にボルト用キャップを12個 (左右各6個) 取付けてください。



■デスク本体の組立て (STEP2の場合)

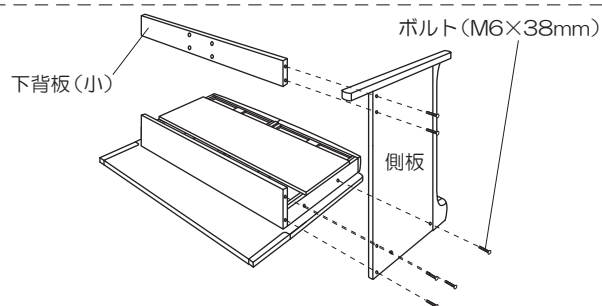
(1) 上背板 (大) と天板の取付け

- 毛布等しき物の上に天板を裏返して置き、天板に上側となる上背板 (大) をボルト (M6×38mm・1本) で締めつけてください。
- ※このとき背板の前後上下に注意してください。
- 上背板の上マーク $\blacksquare$ を引出し側 (前側) にして締めつけてください。



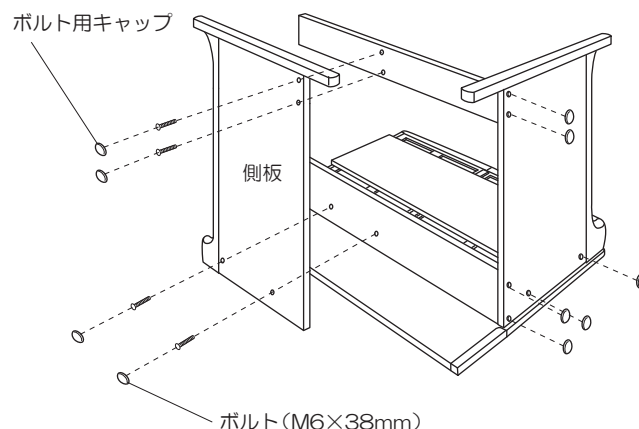
(2) 背板・天板と側板の取付け

- ①シェルフと連結させない側の側板に上背板 (大) と下背板 (小) を図のようにボルト (M6×38mm・4本) で締めつけてください。
- ※このとき背板の前後上下に注意してください。
- 下背板 (小) は中央に4つのネジ穴がある面を後側にして締めつけてください。
- ②天板と側板をボルト (M6×38mm・2本) で締めつけてください。



(3) 側板と背板の取付け

- ①シェルフと連結させる側の側板を上背板 (大) と下背板 (小) に図のようにボルト (M6×38mm・各2本) で締めつけてください。
 - ※このとき側板の裏面と背板が当たるようにしてシェルフに近い側に取付けてください。
 - ②組み上がりましたら、すべてのジョイントボルトをしっかりと締めつけてください。
 - ③側板取付けボルトの頭にボルト用キャップを10個取り付けてください。
- ※ボルト用キャップ2個余りますがSTEP1、STEP3の組替えるとき必要ですので大切に保管してください。
- ※ボルトが2本余りますが、シェルフと連結するときに使用します。(7ページ参照)

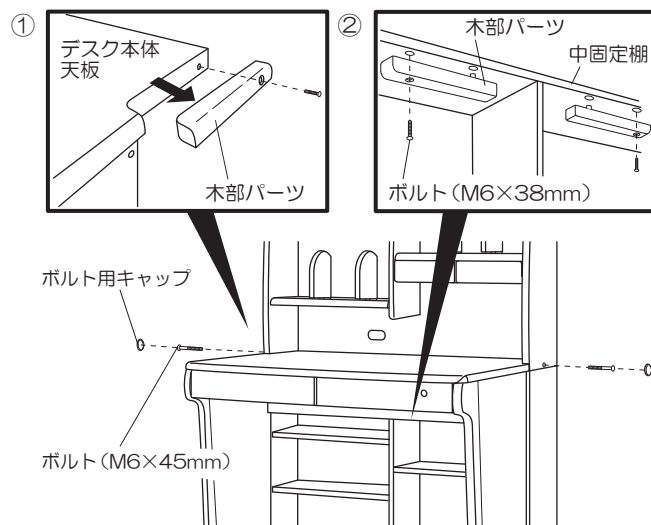


4 組立方法（組立ては2人でおこなってください。）

■シェルフとデスク本体の連結

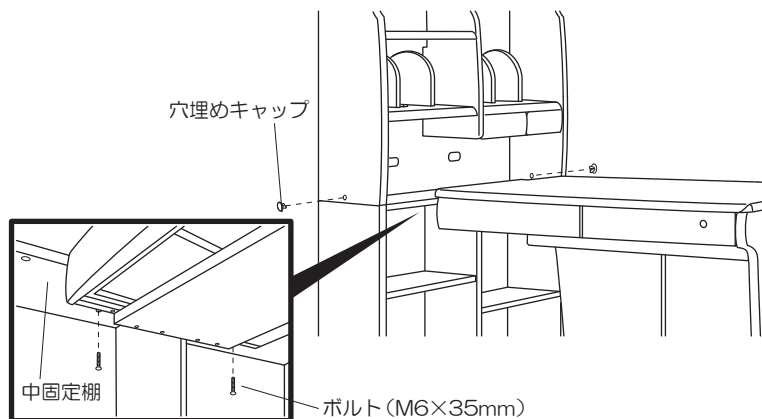
（1）STEP1の場合

- ①デスク本体の天板に取り付けてある木部パーツを④ドライバーを用いて取りはずしてください。
- ②木部パーツは取りはずしたボルト（M6×38mm・各1本）を用いてシェルフの中固定棚の下にあるネジ穴に合わせて締め付けてください。
- ③デスク本体の天板をシェルフに差込み、シェルフ（上）側板の横側からデスク本体天板の木部パーツ用のネジ穴に合わせてボルト（M6×45mm・左右各1本）で締めつけてください。
※このときに使用するボルトは、木部パーツに取付いていたボルト（M6×38mm）より長いもので、シェルフの入っていた付属のボルトです。
- ④シェルフ（上）の側板のデスク本体との連結ボルトの頭にボルト用キャップを2個取付けてください。



（2）STEP2の場合

- ①側板のない側の天板の端をシェルフの中固定棚の上のせ、シェルフの中固定棚の下からデスク本体の天板の裏側のネジ穴に合わせて、ボルト（M6×38mm・2本）で締めつけてください。
- ②シェルフ（上）の側板で、STEP1の場合の連結穴に外側から穴埋めキャップを左右各1個取付けてください。



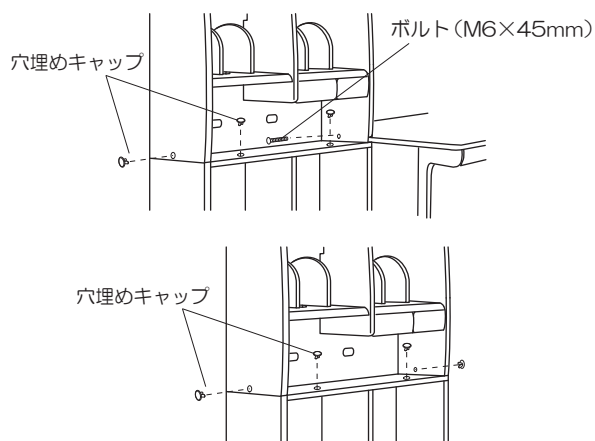
（3）STEP3の場合

○デスクとシェルフを並べて設置する場合

- ①シェルフ側板の内側からボルト（M6×45mm）でデスク本体の木部パーツを取りはずした穴にシェルフをしっかりと固定してください。
- ②シェルフの中固定棚と側板の連結穴に穴埋めキャップを3個取付けてください。

○デスクとシェルフを離れた場所に設置する場合

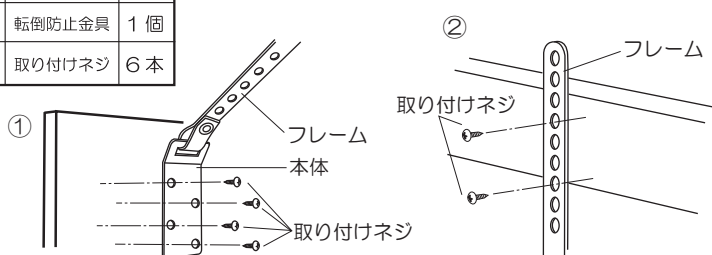
- ①シェルフ（上）の側板で、STEP1の場合の連結の連結穴に外側から穴埋めキャップを左右各1個取付けてください。
- ②シェルフの中固定棚で、STEP2の場合の連結穴に上から穴埋めキャップを2個取付けてください。



■転倒防止金具の取付け方法

- ①転倒防止金具（本体）を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
※取付け部は18mm以上の厚みで硬い木部を選んでください。
- ②壁または柱など（木部）、付属のネジ2本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
※このとき、フレームの長さを任意に位置に合わせてください。

No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1 個
2	取り付けネジ	6 本

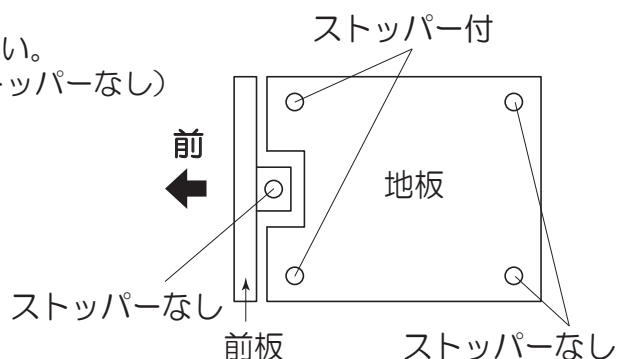


5 使用方法

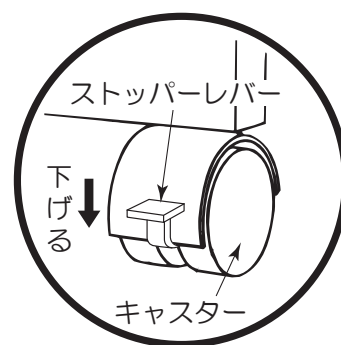
■ワゴンの使用方法 ※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

(1) キャスター取付け・使用方法

- ① 地板の裏にキャスター4個をしっかりと差し込んでください。
- ② 下段引出しの下にキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。



- ワгонはキャスターにより、自由に移動できます。
- 移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。



(2) ワゴン昇降天板 上下操作方法

●天板を上げるとき

- ① 両手で天板の左右を持つ。
- ② ゆっくりと持ち上げる。
(11段階調節できます。)

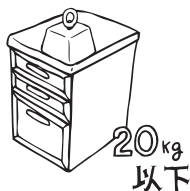
●天板を下げるとき

- ① 両手で天板の左右のレバーを上へ引き上げる。
- ② レバーを引き上げたままゆっくりおろす。

⚠ 警 告

- 天板には20kgを超えるものをのせないでください。
→ けが・破損の原因になります。

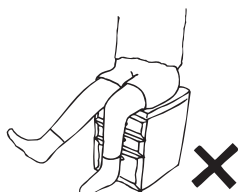
(天板中央部垂直耐荷重:100kg)



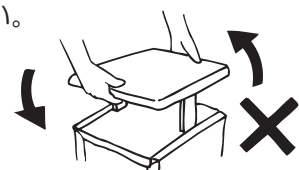
- 昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
→ 傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。



- 天板や引出しの上に乗らないでください。
→ けが・破損の原因になります。
- 激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
→ 倒れてけがをしったり、他のものをこわしたりする原因になります。



- 昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行ってください。
→ むりな力を加えたり固定が不完全ですと、けが・破損の原因になります。



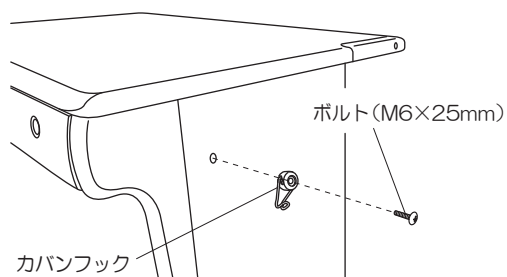
- 昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
→ けが・破損の原因になります。

5 使用方法

■使用方法

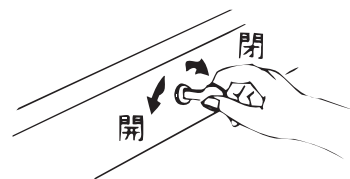
(1) カバンフックの取付け

- 側板にカバンフック 1 つボルト (M6×25mm) で締めつけてください。
- フックには 10kg を超えるものを掛けしないでください。また、衝撃を加えたりしないでください。
→けが・破損の原因になります。



(2) カギの使用法

- カギを差し込んで、右へ180°まわすと閉まります。
- カギを差し込んで、左へ180°まわすと開きます。
- ※カギは全機種共通の為、盗難防止の保障はいたしかねます。
- △カギは最後まで差し込んでから操作してください。また、まわし過ぎないようにしてください。
→カギや錠前の破損の原因になります。



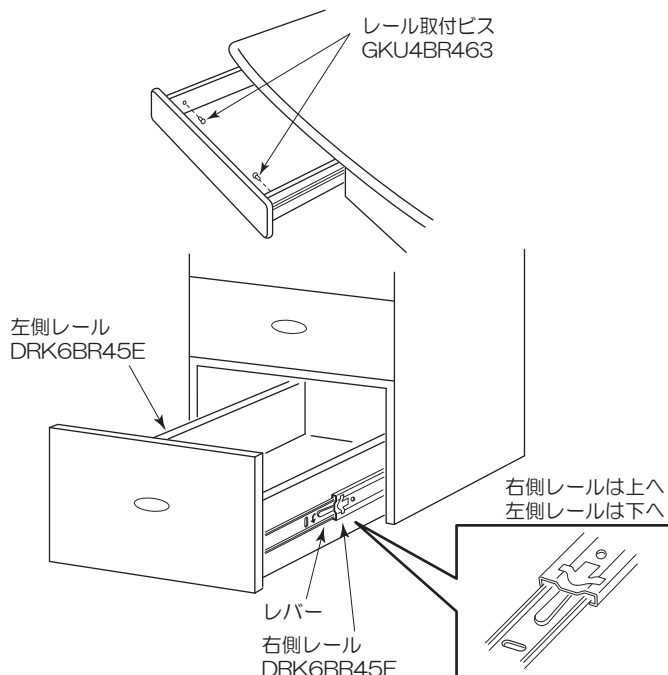
(3) 引出しの使用法

<引出しのはずし方>

- ①金属レール (デスク本体、ワゴン上・中引出し)
 - 引出しは、内面のレール取付ビス (左・右) 2 本をはずすと抜き取れます。
- ②ワゴン下引出し3段引きフルオープン
 - レバーを上へ (左側は下へ) 押しながら引出しを抜くとはずれます。

<引出し内の耐荷重>

- デスク本体引出し…6kg
- シェルフ小引出し…1kg
- ワゴン上引出し…5kg
- ワゴン中引出し…5kg
- ワゴン下引出し…20kg

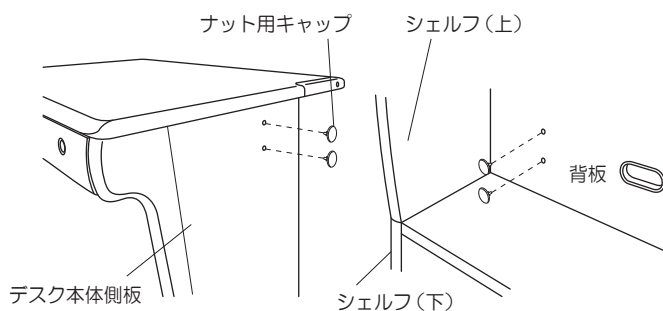


(4) 棚板の耐荷重

- 可動棚…12kg
- 上固定棚…25kg

(5) ナット用キャップの取付け

- 10ページのコンセントボックスの取付けネジ穴すなわち、デスク本体側板 (左右各2個) とシェルフ (上) の背板 (左右各2個) 計8個のうち、コンセントボックスを取付けたあと残る6個のネジ穴にナット用キャップをはめ込んでください。



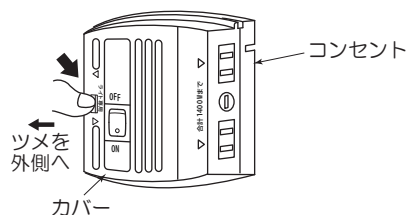
5 使用方法

■コンセントボックスの使用方法

コンセントはお好みに応じて、シェルフ・デスク本体のどちらかを選んで取付けることができます。
電源コードの差し込みプラグは必ず壁コンセントから抜いた状態で、取付け、付けかえを行なってください。

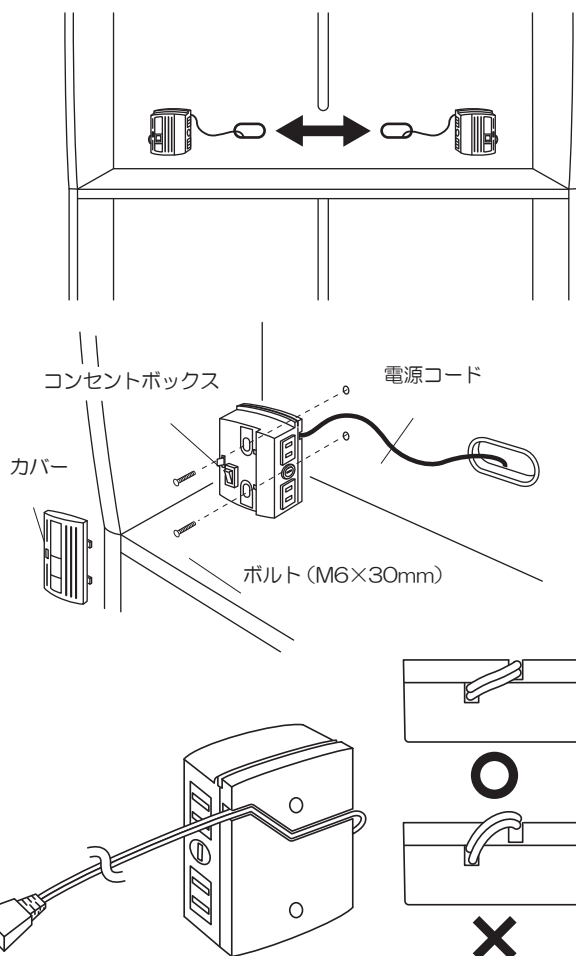
●カバーのはずし方

カバーの図の太矢印位置に指をかけて外側にツメの掛かりを解き、手前に引いてカバーをはずしてください。



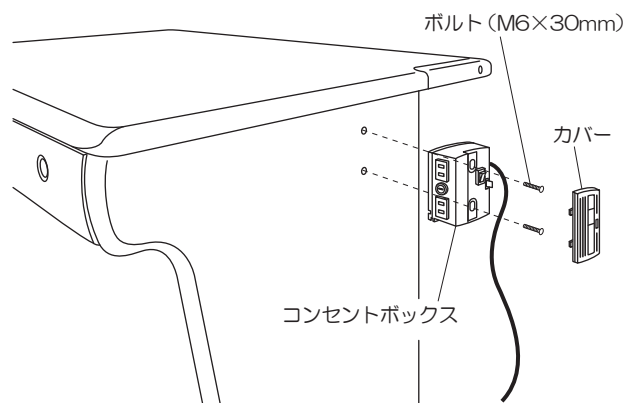
(1) シェルフへの取付け方法

- ①コンセントのカバーをはずしてください。
※コンセント上面の出っ張りに指をかけて外側にツメの掛かりを解き、手前に引いてカバーをはずしてください。
- ②シェルフ（上）の背板の右側、又は左側にあるコンセント取付け用ネジ穴にボルト（M6×30mm・2本）で⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
○確実にコンセントを取付けてください。
→落下により、けが・破損の原因になります。
- ③コンセントのカバーをはめてください。
- ④電源コードはシェルフ（上）の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。
※コンセントをシェルフに取付ける場合、お好みに応じてシェルフ正面の向かって左または右に取付けることができます。
※シェルフに取付ける場合、コンセント裏のコンセント溝にはめ込んで使用できます。
- コードをコンセント裏のコンセント溝に確実にはめ込んでください。
→溝からはみ出したりすると、コードが早くいたみ、火災・感電の原因になったり、家のブレーカが落ちたり、壁コンセントの過熱・変形の原因になります。



(2) デスク本体への取付け方法

- ①コンセントのカバーをはずしてください。
※コンセント上面の出っ張りに指をかけて外側にツメの掛かりを解き、手前に引いてカバーをはずしてください。
- ②側板のコンセント取付け用ネジ穴（左右2カ所）のうち、使い方に合わせてお好みの1カ所を選び、ボルト（M6×30mm・2本）で⊕ドライバーを用いてしっかりと固定してください。
○確実にコンセントを取付けてください。
→落下により、けが・破損の原因になります。
- ③コンセントのカバーをはめてください。
※コンセントをデスク本体に取付ける場合、お好みに応じて、向かって左または右の側板いずれにも取付けることができます。



5 使用方法

(3) 机のコンセントは2口で合計1400ワット(W)までの家電製品が使用できます。

○ご使用時に使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)数の合計が1400ワット(W)以下となることを確かめてからご使用ください。エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット(W)数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。

→合計が1400ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと、電流ヒューズが切れてコンセントが使用できなくなります。

○ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。

→付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災・発煙・過熱の原因になります。

※机のコンセントで使用できない場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

○コンセントへの差し込みプラグの抜き差しの際は、片手でコンセント側、もう一方の手でプラグを持ち、ゆっくりと確実に行ってください。

→コードが早くいたんだり、火災・感電・破損の原因になります。

○このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。

→コードが早くいたんだり、火災・感電・破損の原因になります。

○その他のネジ類をはずしたり、分解・修理・改造は絶対しないでください。

→火災・感電の原因になります。

(4) 電源ヒューズの交換

①電源コードをコンセントから抜いてからヒューズの交換をしてください。

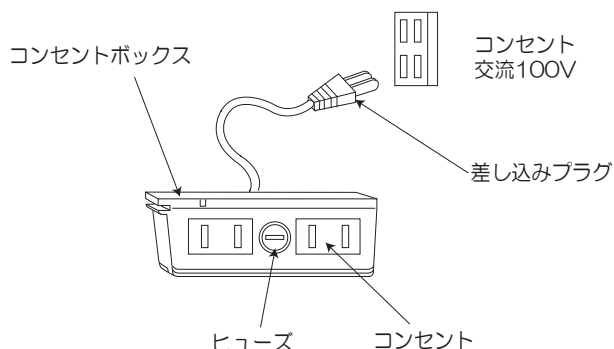
②ヒューズカバーをドライバーで左に回してください。

③ヒューズカバーを手前に引き出してヒューズをはずします。

④ガラス管15A(6.4×30mm)の電流ヒューズの交換をしてください。

○ヒューズ交換後、ヒューズカバーはゆっくりと回して確実に取付けてください。

→ヒューズカバーの飛び出しが大きいと、発煙・過熱・変形の原因になります。



■家具のすえ付け時のご注意

①すえ付け場所

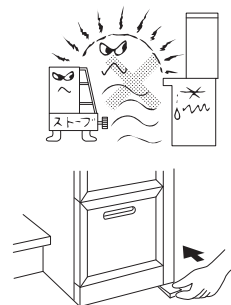
△直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当たらないようにしてください。

→家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

②水平設置

△水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。

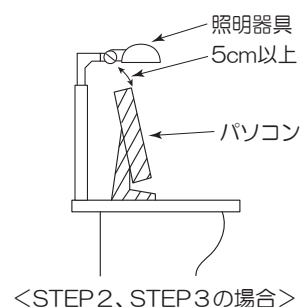
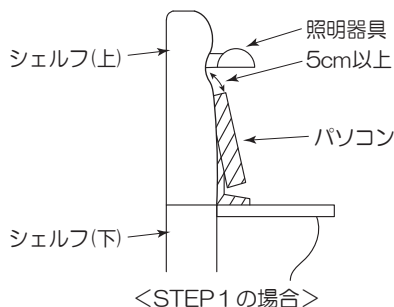
→ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。



■パソコンすえ付け時のご注意

照明器具とパソコン本体とのスキ間を5cm以上あけてください。

→照明器具やパソコンが故障することがあります。



6 照明器具の使用方法

使用前に必ず確認してください。

⚠ 警 告

- この照明器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所では使用できません。
→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 照明器具やランプに布や紙等燃えやすいものをかぶせたり、近づけたりして使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 照明器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯させないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は使用方法に従って確実にこなしてください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- まくら元およびベッドで使用しないでください。
→倒れた場合、火災の原因になります。
- 据置面には十分に注意し、安定した場所でご使用ください。
→倒れた場合、火災の原因になります。
- 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下・けがの原因になります。販売店にご相談ください。
- 電源コードが損傷した場合（芯線の露出・断線等）、速やかに販売店に修理を依頼してください。
→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
- ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
→放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
- 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
→感電・故障の原因となります。
- カーテン等可燃物の近くで使用しないでください。
→火災の原因になります。

⚠ 注 意

- この照明器具は屋内専用器具です。屋外では使用できません。
→火災・感電・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は照明器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- この照明器具は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の中で使用してください。
→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
- 照明器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違えて器具に過電圧を加えた場合、ランプ短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 照明器具に貼り付けている注意シールの指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 照明器具の近くや電波状況の弱い場所ではラジオ・補聴器・電話器・音響製品等に雑音が入る場合があります。
→器具とラジオ・補聴器・電話器・音響製品等を150cm以上離してご使用ください。
- 照明器具の近くでリモコン（コントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。
→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 部屋の他の器具と併用し、スタンドのランプが直接目にあたらないようにセードの角度を調節してご使用ください。
→目の健康にご注意ください。
- ランプと被照射物とは10cm以上離してください。
→被照射物の焼損・変形・変色の原因になります。
- 電源を入れたまま、ランプの取付け、取外しはしないでください。
→感電・故障の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
→電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。
- 点灯中、ソケットからランプを抜いたり差したりしないでください。
→保護装置が働き、再点灯しないことがあります。
- ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。
→感電の原因になります。
- 器具やランプに着色等をしないでください。
→焼損・過熱・故障・変色の原因になります。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。
→ひどい場合は販売店にお申し出ください。

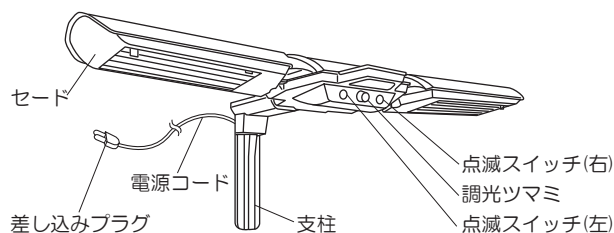
6 照明器具の使用方法

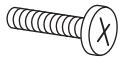
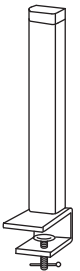
■ライトの取付け・使用方法 ※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

(1) ライト各部の名称および付属部品 ※ライト取付ボルトはライト支柱に取付いています。

<SB-763>

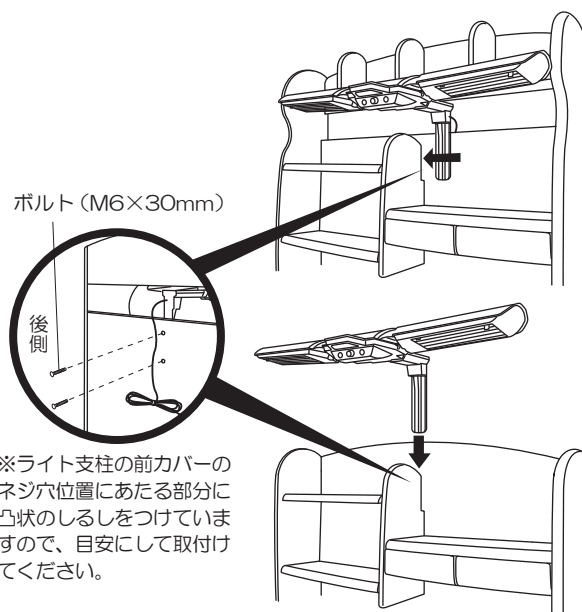
■ライト付属品



ライト取付けボルト	クランプ取付けボルト	クランプ
M6×30 (長)	M6×15 (短)	
		
×2	×2	×1

(2) シェルフへの取付け方法 (STEP1の場合)

- ①ライトの支柱をシェルフ(上)の中央仕切板の切り込み部分にハイシェルフの場合は横から、ミドルシェルフの場合は上からはめ込んでください。
- ②シェルフ(上)の背板の裏側からボルト(M6×30mm・2本)を使い、しめ込んで固定してください。
 ◎ライトはかなりの重量がありますのでシェルフへの取付時にはあらかじめ重さを体感いただき、シェルフへのキズ付きなきようご注意ください。
 ※クランプ用取付けボルト、クランプはSTEP2、STEP3の場合に必要ですので大切に保管してください。
- ③ライトの差し込みプラグをライト専用コンセントに差し込んでください。
 ➡ライト専用コンセント以外に差し込んだ場合、ライト専用スイッチと連動しません。

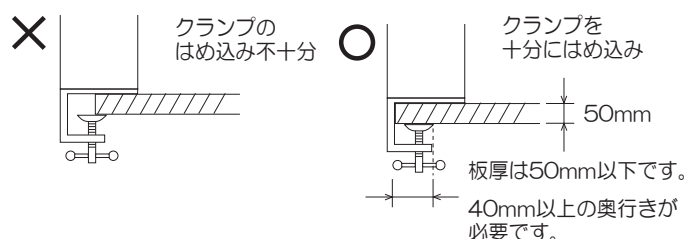
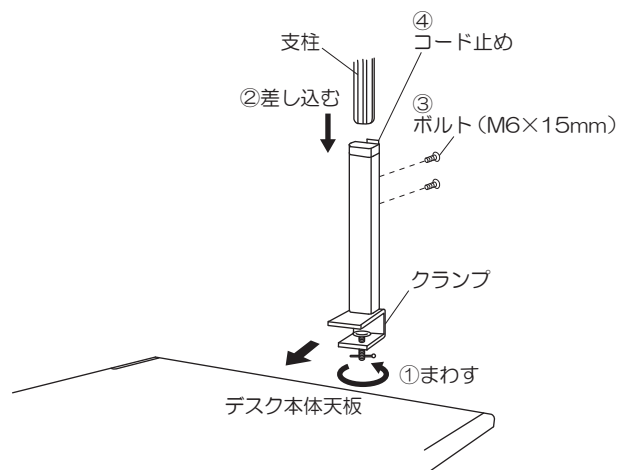


(3) クランプでの取付け方法 (STEP2、STEP3の場合)

- ①クランプ本体を机にはさみ込んでハンドルを回して、回らなくなるまで締めてください。
- ②クランプの上にライトの支柱を差し込んでください。
- ③後からボルト2本(M6×15mm)で固定してください。
 ◎転倒の原因となりますので、クランプは弱い場所(薄板、かかり代の少ない所、丸棒等)には付けしないでください。
 ◎指定のボルトサイズ以外のボルトは使用しないでください。
 ➡感電・故障の原因となります。
- ④電源コードをクランプ背面上端のコード止めにはめ込んでください。

△設置のご注意

- ◎不安定な場所、状態での使用はしないでください。
- ◎クランプを使用する場合、クランプを机等に十分にはめ込んで確実に取付けてください。
 (クランプは取付け板厚さ50mmまで取付可能です。)
 また、強度の弱い箇所(しなる、曲がる、反る)には取付けしないでください。はめ込み及びクランプ止めネジの締め付けが不十分な場合、ガタつき、倒れ等の原因になります。
 なお、安全のため取付け後可動させてゆがみがないか、ガタつきがないか再確認してください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。棚にボルトで締め付けて固定させた場合も取付け後に安全の確認をしてください。



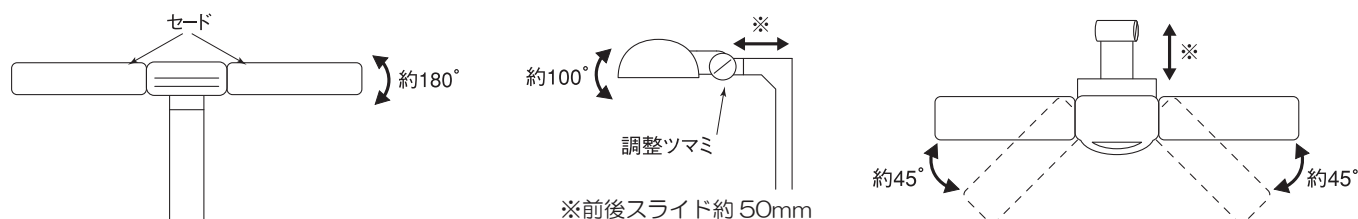
6 照明器具の使用方法

(4) 電源コードの接続

- ⊙電源コードの差し込みプラグを交流100ボルト(V)のコンセントにしっかり差し込んでください。
→火災・感電の原因になります。
- ⊙コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。
→ゆるんだままご使用になりますと、火災・過熱の原因になります。ゆるんでいる場合は必ず電気店に点検、修理を受けてからご使用ください。

(5) 操作方法

- ライトの動作範囲は、下図のようになっています。
- セードをお好みの角度に調節してください。
⊙各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は調整ツマミを右に強く回してください。
- セードは左右両端からそれぞれ約45°手前に可動します。
⊙各部にストッパーがついていますので無理に回さないでください。
→ライトの破損や断線を引き起こし、火災・感電の原因になります。



(6) ライトの調光機能

調光機能が付いており、ツマミを右に回せばランプの明るさが増し、左に回せばランプの明るさが減少します。(右端を100とすれば左端は約60です。：電力比)

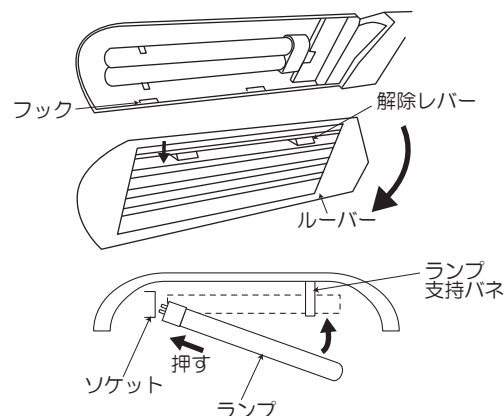
(7) ランプの交換方法

- ⊙ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。
→電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。
- ⊙ランプは適合したランプを使用してください。(下表参照)
→適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。

ライトタイプ	定格電圧	周波数	適合ランプ
SBライト	AC 100V	50Hz / 60Hz 共用	コンパクト形蛍光ランプ P形 FPL 18EX-N × 2本

- ⊙ランプが寿命になりますと保護回路が働きそのランプは突然消灯しますが、故障ではありません。
ランプを交換し約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。
→一旦両方のスイッチを切ってから電源を入れ直してください。
再点灯しない場合、スイッチ ON・OFF 操作を2・3回行ってください。

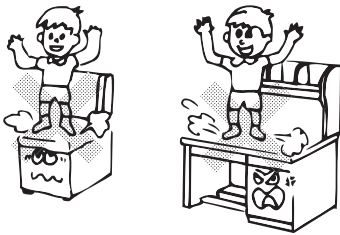
- ①ルーバーの解除レバーを外側へ押す。
- ②ルーバーを矢印の方向へ引きだす。
- ③ランプをランプ支持バネから外し、ソケットから引き抜いてください。
- ④ランプを右図の要領でソケットに差し込み、ランプ支持バネにはめ込んでください。
⊙ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
→破損・落下の原因になります。
- ⑤ルーバーを取り付けてください。フックに差し込んでから解除レバーが引っかかるまで押し上げてください。



7 使用上のご注意

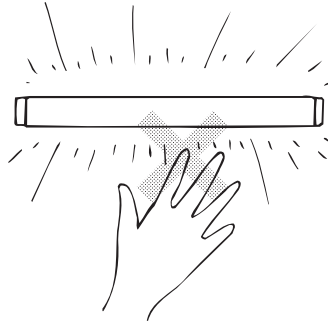
⚠ 警 告

- けが・破損の原因になります。



机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

- やけどの原因になります。



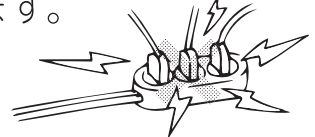
点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

- 火災の原因になります。



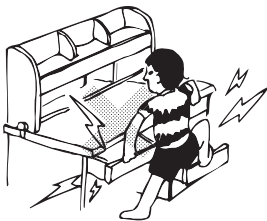
器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

- 火災・過熱の原因になります。



タコ足配線はしない

引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない



- 火災・感電の原因になります。

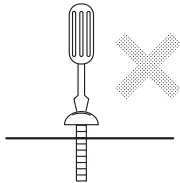


水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない



電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない



コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない



差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



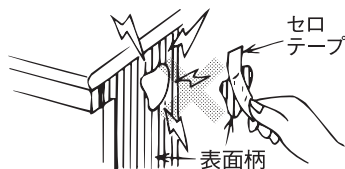
⚠ 注 意

- こげ・変色の原因になります。



家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

- 表面が、はがれることがあります。



シールやセロテープ等を貼らない。

- 変色・変質の原因になります。



シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない

- 天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。

- 塗料や接着剤等のおいが残っている場合、換気を十分にしてお取り除くようにしてください。

8 点検と修理が必要なとき

- 1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

- コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

- 2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。

- 電流ヒューズの交換
- ランプの交換

⊖器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→火災・感電の原因になります。

- 3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。



SA-FU

無断転用を禁ず

(社)全国家具工業連合会

☎03-5645-8548

9 コイズミ学習机保証書

品番	(錠付き引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。)		
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 () —		
お買い上げ日		販売店名・住所・電話番号	
年 月 日			
保証期間(お買い上げ日より)			
2ヶ年			

*ご販売店様へ

必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合には商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
 - ②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
 - ④消耗品の消耗、又はそれによる故障
 - ⑤本書のご提示がない場合
 - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社

〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

10 お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号 ☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社

〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成18年現在(所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)